News Release

西日本シティ銀行

2018 年 5 月 1 日

～ 低価格と使いやすさを両立した補聴システムの開発及び事業化を支援 ～

QB 第一号ファンド　「九州工業大学による補聴システム事業化プロジェクト」へのプレ投資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「九州工業大学による補聴システム事業化プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）に、第 2 号のプレ投資※案件となる投資を行いましたので、お知らせします。

本プロジェクトは、九州工業大学において、同大学大学院の水町 光徳准教授が研究する音情報処理技術を活用し、低価格と使いやすさを両立した補聴システムの開発を目指すものです。

なお、当行と九州工業大学は 2010 年 8 月 2 日に産学連携協力協定を締結し、同大学の技術・研究開発支援に関するネットワークの構築、人材交流・育成の促進などで連携しています。

今後も、当行は地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

※プレ投資…事業化を目指すシーズ段階（研究段階）の技術に対する投資

記

１．投資対象プロジェクトの概要

プロジェクト名	九州工業大学による補聴システム事業化プロジェクト
技術研究者	水町 光徳 九州工業大学大学院准教授
事業内容	低価格な集音器に調音機能を付加した補聴システムの研究開発
資金使途	補聴システムの技術開発及び試作品の製作・モニタリング検証に必要な費用

２．出資の理由

本件は、本ファンドの特徴であるプレ投資機能を活用し、大学が有する技術シーズの事業化を支援するものであり、下記の点を評価し投資を行いました。

（１）必要性

今後の高齢化社会において、補聴器機のニーズが増加し、従来の補聴器機に対する低価格化や品質改善に期待が寄せられると見込まれること。

（２）チャレンジ精神

マーケットの革新を目指す、チャレンジ精神にあふれたプロジェクトであること。

（３）地域経済の活性化

大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以　上

参　考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

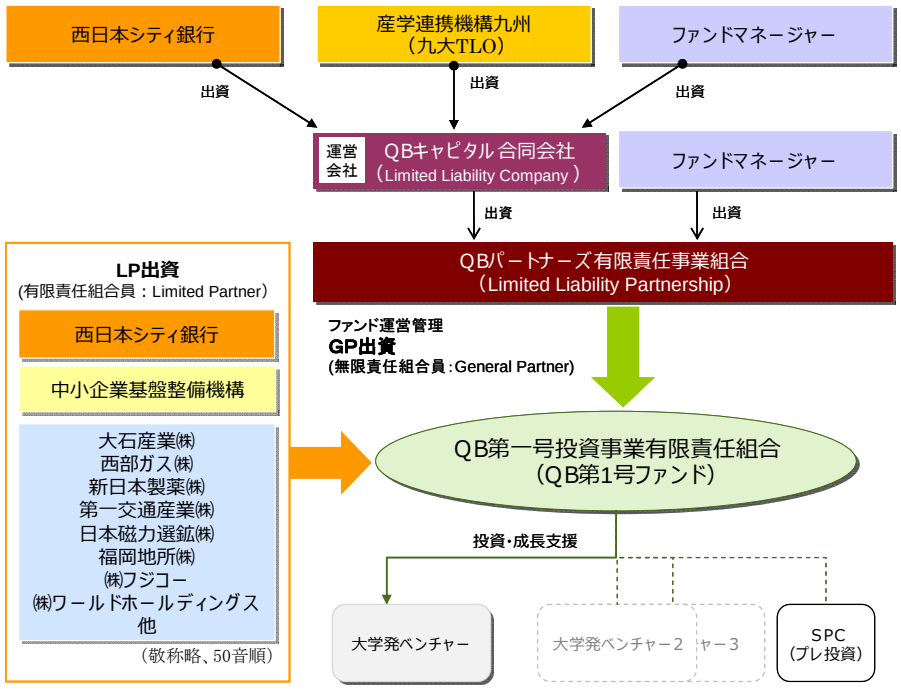
１．ファンドの概要

名　　称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設　立　日	2015 年 9 月
ファンド総額	約 31 億円
無限責任組合員 (GP：General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有限責任組合員 (LP：Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社　他
存続期間	10 年間

２．運営会社の概要

名　　称	QB キャピタル合同会社
設　立　日	2015 年 4 月
所　在　地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出　資　者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州　他
代表社員	坂本 剛、本藤 孝

３．ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
法人ソリューション部　渡辺・多良木　TEL092-476-2741